

英語 5 技能教育特別部会(西日本エリア) 実施報告

一般財団法人日本私学教育研究所 主催／日本私立中学高等学校連合会 後援

国による抜本的な英語教育改革や大学入試における英語 4 技能(総合的な英語力)の評価の拡大への対応はもとより、外国語運用能力を測るための国際標準である「CEFR」では、学習者の自己評価においてコミュニケーションの形態を 5 技能(Listening, Reading, Spoken Interaction, Spoken Production, Writing)に分類していることから、英語 5 技能教育への対応は喫緊の課題となっています。

そこで当研究所では、私立学校の英語教育担当教員の指導力強化を図るため、5 技能教育に係る特別研修事業を令和 4 年度に引き続き実施いたします。

◆ 会 期 ◆	令和 5 年 9 月 15 日(金)・16 日(土)
◆ 会 場 ◆	9 月 15 日(金)：京都橘中学校・高等学校 京都市伏見区桃山町伊賀 50 (JR 奈良線桃山駅下車 徒歩約 10 分／京阪宇治線桃山南口駅下車 徒歩約 5 分) 9 月 16 日(土)：京都ガーデンパレス 京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605 (京都市営地下鉄丸太町駅／今出川駅下車 徒歩約 8 分)
◆ 参加者数 ◆	47 名
◆ 参加対象 ◆	私立中学校・高等学校・中等教育学校の英語科教員 ※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校
◆ プログラム ◆	
学校視察	視察校 京都橘中学校・高等学校
視察校実践発表	テーマ 「京都橘中学校・高等学校の英語教育」 発表者 友田 哲平 京都橘中学校・高等学校教諭 菊地 昭男 京都橘中学校・高等学校教諭
研究協議	テーマ 「ニューノーマル時代の英語教育のあり方を探る」 京都橘中学校・高等学校の英語科の先生方を交えて意見交換を行います。
Workshop	テーマ Teaching listening skills and integrating listening with speaking 講 師 Laura Pratt Trainer of English, British Council Participants will ... <ul style="list-style-type: none"> Understand basic concepts in teaching listening Experience interactive listening-skills lessons as students Focus on helping students understand and discuss the ideas and information they hear about in listening texts Focus on how to link listening to speaking

◆ 日 程 ◆ ※授業視察時間は、移動時間を含みます。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
		30	20	40	30	20	40	50	20	50	20	30	50	
9 月 15 日(金)		受付	開 会 式	実 践 発 表 ①	授 業 視 察 (3 限)	昼 食	学 校 紹 介	実 践 発 表 ②	授 業 視 察 (5 限)	施 設 見 学	Workshop Session 1		研 究 協 議	
9 月 16 日(土)		Workshop Session 2			昼 食	Workshop Session 3			研 究 協 議	開 会 式				

◆ 日程表 ◆ ※日程・プログラム内容等は変更となる場合があります。

【1日目】9月15日(金)

〔会場 京都橘中学校・高等学校 講義室棟2階 第三講義室〕

9:30-10:00	受付 [1階 事務室前]																																																	
10:00-10:20	開会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 ◇開会 ◇主催者挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 ◇視察校代表挨拶 安田 文彦 京都橘中学校・高等学校校長 ◇研修会運営方針説明 平方 邦行 英語5技能教育特別委員長 ◇日程説明 重村 京子 京都橘中学校・高等学校英語科主任 ◇閉式																																																	
10:20-10:40	視察校実践発表① 司会 佐藤 貴明 英語5技能教育特別委員 発表者 友田 哲平 京都橘中学校・高等学校教諭																																																	
10:40-11:30	授業視察(3限) 司会 佐藤 貴明 英語5技能教育特別委員 ※貴重品以外の荷物は「講義室棟2階 第三講義室」に置いていただいて差し支えございません。 ※3限の授業視察終了後は「3階 会議室」にて昼食となりますので各自ご移動下さい。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>担当者</th> <th colspan="2">場所 教室番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高1-1</td> <td>友田</td> <td>高1-1</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>高1-3</td> <td>結城</td> <td>高1-3</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td>高1-6</td> <td>水井</td> <td>高1-6</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>高1-8</td> <td>菊地</td> <td>高1-8</td> <td>422</td> </tr> <tr> <td>高1-11</td> <td>梅川</td> <td>高1-11</td> <td>402</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	担当者	場所 教室番号		高1-1	友田	高1-1	313	高1-3	結城	高1-3	315	高1-6	水井	高1-6	424	高1-8	菊地	高1-8	422	高1-11	梅川	高1-11	402	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>担当者</th> <th colspan="2">場所 教室番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高2-3</td> <td>河野</td> <td>高2-3</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>高2-5</td> <td>伊地知</td> <td>高2-5</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td>高3-1</td> <td>野村</td> <td>高3-1</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>高3-2</td> <td>藤猪</td> <td>高3-2</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>高3-12</td> <td>上村</td> <td>高3-12</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	担当者	場所 教室番号		高2-3	河野	高2-3	224	高2-5	伊地知	高2-5	222	高3-1	野村	高3-1	111	高3-2	藤猪	高3-2	112	高3-12	上村	高3-12	321
クラス	担当者	場所 教室番号																																																
高1-1	友田	高1-1	313																																															
高1-3	結城	高1-3	315																																															
高1-6	水井	高1-6	424																																															
高1-8	菊地	高1-8	422																																															
高1-11	梅川	高1-11	402																																															
クラス	担当者	場所 教室番号																																																
高2-3	河野	高2-3	224																																															
高2-5	伊地知	高2-5	222																																															
高3-1	野村	高3-1	111																																															
高3-2	藤猪	高3-2	112																																															
高3-12	上村	高3-12	321																																															
11:30-12:20	昼食 [3階 会議室] ※昼食後は全ての荷物を持って「講義室棟2階 第三講義室」に各自ご移動下さい。																																																	
12:20-12:40	視察校紹介 司会 佐藤 貴明 英語5技能教育特別委員 紹介者 大野 紀子 京都橘中学校・高等学校教頭																																																	
12:40-13:00	視察校実践発表② 司会 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 発表者 菊地 昭男 京都橘中学校・高等学校教諭																																																	
13:00-13:50	授業視察(5限) 司会 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 ※貴重品以外の荷物は「講義室棟2階 第三講義室」に置いていただいて差し支えございません。 ※5限の授業視察終了後は施設見学を行いますので、「1階 生徒玄関」世界地図付近にお集まり下さい。																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>担当者</th> <th colspan="2">場所 教室番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中3-2</td> <td>コーディネー</td> <td>中3-2</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>高1-5</td> <td>サンドラ</td> <td>高1-5</td> <td>301</td> </tr> <tr> <td>高1-9</td> <td>菊地</td> <td>高1-9</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td>高2-6</td> <td>伊地知</td> <td>高2-6</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>高3-3</td> <td>橋本</td> <td>高3-3</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	担当者	場所 教室番号		中3-2	コーディネー	中3-2	312	高1-5	サンドラ	高1-5	301	高1-9	菊地	高1-9	421	高2-6	伊地知	高2-6	221	高3-3	橋本	高3-3	113	<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>担当者</th> <th colspan="2">場所 教室番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高3-4・5文</td> <td>藤猪</td> <td colspan="2">第2講義室</td> </tr> <tr> <td>高3-4理</td> <td>吉田奈</td> <td>高3-4</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>高3-6</td> <td>梅川</td> <td>高3-6</td> <td>326</td> </tr> <tr> <td>高3-7</td> <td>上野</td> <td>高3-7</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>高3-10</td> <td>上村</td> <td>高3-10</td> <td>323</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	担当者	場所 教室番号		高3-4・5文	藤猪	第2講義室		高3-4理	吉田奈	高3-4	114	高3-6	梅川	高3-6	326	高3-7	上野	高3-7	325	高3-10	上村	高3-10	323
クラス	担当者	場所 教室番号																																																
中3-2	コーディネー	中3-2	312																																															
高1-5	サンドラ	高1-5	301																																															
高1-9	菊地	高1-9	421																																															
高2-6	伊地知	高2-6	221																																															
高3-3	橋本	高3-3	113																																															
クラス	担当者	場所 教室番号																																																
高3-4・5文	藤猪	第2講義室																																																
高3-4理	吉田奈	高3-4	114																																															
高3-6	梅川	高3-6	326																																															
高3-7	上野	高3-7	325																																															
高3-10	上村	高3-10	323																																															
13:50-14:20	施設見学 司会 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 案内 藤本 義徳 京都橘中学校・高等学校事務部																																																	
14:20-15:50	Workshop Session1 <Overview of listening and pronunciation> 司会 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 講師 Laura Pratt Trainer of English, British Council																																																	
15:50-17:00	研究協議 京都橘中学校・高等学校英語科の先生方を交えて意見交換を行います。 コーディネーター 佐藤 貴明 英語5技能教育特別委員																																																	

【2日目】 9月16日(土)

〔会場 京都ガーデンパレス 2階 鞍馬〕

9:30-11:30	Workshop Session2 <Teaching listening at Junior High School> 司会 岩瀬 俊介 英語5 技能教育特別委員 講師 Laura Pratt Trainer of English, British Council
11:30-12:20	昼食
12:20-14:50	Workshop Session3 <Teaching listening at Senior High School> 司会 岩瀬 俊介 英語5 技能教育特別委員 講師 Laura Pratt Trainer of English, British Council
14:50-15:20	研究協議 講師を交えて意見交換を行います。 コーディネーター 中川 千穂 英語5 技能教育特別委員
15:20-15:30	閉会式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 ◇開式 ◇総括 中川 千穂 英語5 技能教育特別委員 ◇挨拶 平方 邦行 英語5 技能教育特別委員 ◇閉会

◆ **Workshop 概要** ◆ ※研修内容に多少の変更が生じる可能性があります。ご了承下さい。

テーマ **Teaching listening skills and integrating listening with speaking**

令和5年9月15日(金)	
Session 1 14:20-15:50 (90分)	Overview of listening and pronunciation ・ Sounds and meaning ・ Scaffolding understanding ・ The relationship between sounds and spelling ・ Word and sentence stress
令和5年9月16日(土)	
Session 2 9:30-11:30 (120分)	Teaching listening at Junior High School ・ Model lesson, based on a typical JHS listening text ・ Setting the scene for listening ・ Linking listening to speaking ・ Focused teaching practice
Session 3 12:20-14:50 (150分)	Teaching listening at Senior High School ・ Model lesson, based on a typical SHS listening text ・ Helping students with features of connected speech ・ Breaking down longer audio into smaller chunks and checking understanding ・ Role of note-taking ・ Linking listening to speaking ・ Focused teaching practice
Discussion 14:50-15:20 (30分)	Discussion ・ Opportunity for participants to discuss topics raised over the course of the training

◆ **講師・発表者・指導員 (順不同)** ◆

Laura Pratt Trainer of English, British Council
安田 文彦 京都橘中学校・高等学校校長
大野 紀子 京都橘中学校・高等学校教頭
友田 哲平 京都橘中学校・高等学校教諭
菊地 昭男 京都橘中学校・高等学校教諭
吉田 晋 富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長

◆ **特別委員・指導員 (順不同)** ◆

平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
西山 啓一 学校法人同志社常務理事
重村 京子 京都橘中学校・高等学校英語科主任
中川 千穂 工学院大学附属中学高等学校英語科主任
佐藤 貴明 ドルトン東京学園中高等部教諭
岩瀬 俊介 学校法人石川高等学校・石川義塾中学校教諭
川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆ 講師プロフィール ◆ Laura Pratt Trainer of English, British Council

オーストラリア出身。2005年にCELTAを取得、続けてTESOLのディプロマ（準修士）を取得。2011年に来日し、大学教員養成課程での指導を含め、学校現場での指導を行う。2018年から文部科学省や教育委員会等の教員研修で講師及び教材開発を担当。専門はリーディング指導。高等学校英語コミュニケーション用検定教科書「ENRICH LEARNING I 及び II」（東京書籍）の編集協力者。ブリティッシュ・カウンシル 英語教員研修トレーナーは全員CELTA及びDELTA保持している（あるいは同等）。CELTA(Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages)、DELTA(Diploma in English Language Teaching to Adults)はいずれもケンブリッジ大学英語検定機構が授与する英語教授に関する国際資格。CELTAは、世界中にあるTESOL/TEFLの資格の中でも、最も広く認められ高評価を受けており、知識・理論面と同様、実践面も重視。DELTAは英国の公的な資格・試験監査機構Ofqualによってレベル7(大学院修士号と同等資格)として認定。

◆ 学校紹介 ◆ 京都橘中学校・高等学校 <理事長 片山 傳生 / 校長 安田 文彦>

1902年(明治35年)、中森孟夫氏が京都西陣の一角に女性の実業教育を行う学校(京都女子手芸学校)として創立した。良妻賢母主義の女子教育が中心だった時代に、中森氏は「変化の激しい時代においてこそ、自営独立するためにも知識と技能を修得することが大事である」と考え、私財を投じて日本人女性への教育の礎を築いた。その後1985年に京都市上京区から現在の伏見区桃山へ全面移転し、2000年には男女共学となる。2010年には国公立大学進学中高一貫Vコースとして中学校が設置され、現在に至る。「力を実業教育に注ぎ、将来自営独立の実力を得しめん」という建学の精神を受け継ぎつつ、現在は「自立」「共生」を教育理念として常に新たな教育課題にチャレンジしている。

◎京都橘中学校・高等学校の英語教育

中学校から始まる英語教育プログラムは、コミュニケーション手段としての側面に着目し、グローバル教育プログラムとして「使える語学力」を高めることを目標としている。母国語を身につける時と同じく「Listening→Speaking→Reading→Writing」という手順で学ぶことで、英語を第二言語としてマスターできるように指導している。具体的には、実践の機会を豊富に与えることを目的として、英語による各種プレゼンテーションや即興型ディスカッションなどに取り組んでいる。また、希望する者には校内外の高校生と英語で交流する機会を設けるなど、実践の機会を数多く用意している。さらに、2020年度からはiPadを活用した英語指導も積極的に実施しており、英語への興味・関心を高める教育を実現している。こうした機器の活用により、オンライン多読教材(xreading)やDMM英会話(5ヶ月間、毎日ネイティブと話せるサービス)を効果的に学習することが可能となり、生徒たちが本格的な英語を自然に修得することを支援している。その他にも英語検定取得を通して実社会で役立つ「生きた英語力」の習得を目指している。指導においてはネイティブの先生と英語教員が協力してサポートにあっている。

授業以外でも語学力と国際的視野を磨くために、期間を複数設定した海外研修を提供している。期間の短い順に、カナダ短期語学研修、ニュージーランド中期留学、ニュージーランドターム留学、長期留学(1年)があり、異文化交流やホームステイを通して国際感覚を養う。中でも期間の長い1年留学は多様な留学プログラムが充実しており、行き先はアジアや欧米など多様である。数学や理科などの教科も現地の公用語で学ぶため、国際人としての力が育まれる。その他にも、MoG(海外実践型・問題解決プロジェクト)では東南アジアを研修地として、起業家と共に結成するチームで「SDGs」のテーマを踏まえて課題解決に挑む。研修旅行の行き先として選択することも可能である。

◆ 都道府県別参加者数 ◆

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	4	千葉	1	滋賀	1	香川	0
青森	0	神奈川	0	京都	4	愛媛	0
岩手	0	東京	0	大阪	5	高知	1
宮城	1	富山	0	兵庫	0	福岡	4
秋田	0	石川	1	奈良	3	佐賀	0
山形	0	福井	0	和歌山	0	長崎	0
福島	0	山梨	0	鳥取	4	熊本	2
新潟	0	長野	0	島根	0	大分	1
茨城	1	岐阜	1	岡山	0	宮崎	0
栃木	0	静岡	5	広島	3	鹿児島	0
群馬	0	愛知	3	山口	2	沖縄	0
埼玉	0	三重	0	徳島	0	19道府県	47人

◆概要◆

令和5年9月15日(金)～16日(土)、京都橘中学校・高等学校及び京都ガーデンパレス(京都府京都市)において開催した。全国より英語科教員 47 名が参加し、初日は授業視察や施設見学、大野紀子・同校教頭による学校紹介、友田哲平・同校教諭と菊地昭男・同校教諭による実践発表、同校英語科教員を交え研究協議を行った。その後は2日目にかけて Laura Pratt・Trainer of English, British Council によるワークショップを実施した。参加者は意欲的に研修に取り組み、当部会は成功裏に終了した。

9月15日(金)

◆開会式◆

○主催者挨拶 (吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長)

経済界からは、「学生に主体性がない、ツールとしての英語が全く使えない」という声も上がっている。大学の授業も変わる必要があるし、高校以下でも21世紀を担う子供たちに道具としての英語5技能を身につけさせる必要がある。本研修会は英語5技能と称しており、北海道から九州まで全国各地からご参加頂いている。自分ではなく子供たちのためであるという思いを持って研修に励んでもらいたい。



○主催者挨拶・研修会運営方針説明

(平方邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長／英語5技能教育特別委員長)

世界で非常に速い速度で様々な改革が進む中、日本の教育はかなりの遅れをとっている。子供たちが未来社会の中で活躍するために、今何を教育するべきかが重要だ。当研究所では教科別研修は行っていないが、英語については年2回実施している。グローバルネイティブ、デジタルネイティブである今の若者の外国語のレベルと質を上げていくことが喫緊の課題であるからだ。これを理解頂き、研修に取り組んでほしい。



○視察校代表挨拶 (安田 文彦 京都橘中学校・高等学校校長)

本校は1902年に創立し、今年で122年目を迎える。生徒が一番長い時間接するのは教員であり、教員がどういう大人であるかが生徒のこれからの成長に一番影響を与えると考えている。生徒以上に成長し、チャレンジし、失敗しながら頑張って生きていく、そのような姿を見せる必要があると考え学校全体で頑張っている。英語5技能教育特別部会を本校で開催することは教職員の成長のチャンスだと感じている。ご参加の先生方にとってこの研修会が実りあるものになることを祈念している。



◆視察校紹介◆

(大野 紀子 京都橘中学校・高等学校教頭)

6年間の流れや教育コンセプト(個性の伸長、探究、文武不岐)、教育コンテンツ(合格実績に繋がるASTM、留学プログラムが魅力のグローバル教育、研修旅行に繋がる探究教育、学校行事)に関して紹介があった。参加者からは「土曜日の取り扱いが参考になった」、「探究や各大学との提携、生徒主体の学びを促す取り組みに力を入れている点が印象的だ」、「先生が輝かないと生徒が輝かないという言葉が印象に残った」などの感想が寄せられた。



◆視察校実践発表①◆

(友田 哲平 京都橘中学校・高等学校教諭)

自立・共生のための5技能型英語学習実践、MAP (Meaningful, Authentic, Personal) を大切に指導していることや、入試・模試が変化の中で、Breaking News English、DMM英会話、X-reading を活用している等の報告があった。参加者からは、「授業の目標が明確で、そこに行き着くまでの試行錯誤の過程も非常に共感が持てる内容だった」「自分にはないアイデアが沢山あり、持ち帰って取り入れたい」などの感想が寄せられた。



◆視察校実践発表②◆

(菊地 昭男 京都橘中学校・高等学校教諭)

・英語コミュニケーション I の指導について、1 学期における反省点から、2 学期は指導重点を絞ったこと、音読を「声出し」と呼び、繰り返し読むことで意味を掴む指導について報告があった。参加者からは「1 学期を踏まえた授業改善の視点や方法が勉強になった」、「英語だけでなく学級運営や学年目標にも配慮された授業デザインがとても参考になった」などの感想が寄せられた。



◆施設見学◆

事務部の藤本義徳氏をはじめとする視察校教職員の案内でホール、図書館、学習スペース、体育館を見学した。参加者からは「掲示物など細かい点にも気を配っておられると感じた。校内美化など学べる点が多くあった」などの感想が寄せられた。



◆授業視察◆

3 限と 5 限の英語科の授業を視察した。参加者からは「実際の授業を見せていただく機会は限られているのでとても有意義な時間だった」、「様々なクラスを満遍なく見ることができて良かった」などの感想が寄せられた。



◆研究協議◆

参加者は少人数のグループに分かれて意見交換を行った後、視察校の英語科教員へ質疑応答を行った。

○英語科のビジョンは？

英語を使って何かを発信できることを目指している。

○ICT 機器の使い方は教員によるのか？

教科として決めていることはなく、学校としては使えるところから使っていこうというスタンスだ。

○パフォーマンステストの評価については？

教科での取り決めはない。個人的に重めにしている先生もいる。

○DMM 英会話の取り組み具合について

個人差はある。生徒によって時間を費やしている割に効果が不十分なケースも多く、設計の大切さを実感している。受け身ではなくて、自分で用意したことを話す姿勢が大切。

○iPad を採択した経緯は？

ビジュアルに特化しており、操作性が良かったことが理由で選んだ。



◆Workshop◆

<Teaching listening skills and integrating listening with speaking>

(Laura Pratt Trainer of English, British Council)

☆Session1 : Overview of listening and pronunciation

1. What happens when we listen?

- ・リスニングの際、どのような要素が聞きとりに影響を与えるか紹介。実際のリスニング課題に参加者が挑戦し、検討した。

2. Bottom Up Listening

- ・音を認識したのちに、それらを語句に切り分けていく作業（知っている表現との照合）が行われ、その後理解される。この Bottom Up Listening はある程度の英語力がある生徒が無意識でやっていること。英語力が十分ではない中高生に対しては、この作業を鍛えていく必要がある。
- ・語彙を単独で暗記している日本の学生が実際に文脈で英語を聞いたときに、自分の知っている語彙と一致しないことが一つの問題である。
- ・マイクロリスニングの体験：あえて文脈のない短い音を聞き取り、そこからその音を聞き取る。



3. Skills and Knowledge students need

- ・実際に長い対話等で聞くときには、言い換えや別表現での言い方が使われるため、そのような練習をしていくことも大切。表にキーワードを記入するタスクを与えて、その練習を行うことができる。
(Top Down Listening)
- ・実際の音に注目して練習をする Bottom Up Listening も大切である。

4. Summary

- ・本日の研修の振り返り、まとめ

9月16日(土)

☆Session2: Teaching listening at Junior High School

1. Summary of key points from Day 1

- ・1日目の復習。なぜ micro-listening をするのか。

2. Demonstration

- ・場面設定：旅行情報センター@ニューヨーク・マンハッタン
- ・旅行情報センターのアシスタントと旅行者の会話。
- ・接続詞 If の練習を、天気等の条件を設定して実施した。
- ・リスニングからスピーキングにいかにして繋げるか：ロールプレイ



3. Analysis & Practice

- ・以下のチェックリストを使い、レッスンの質を上げる。
- ・明確なゴールセッティング、興味の刺激、登場人物、場面、理由、リスニングタスクの準備、生徒の回答に対するフィードバック。

☆Session3: Teaching listening at Senior High School

1. Demonstration

- ・場面設定：スポーツジム
- ・スポーツジムのトレーナーによる、施設やサービスの紹介。
- ・与えられた条件に合致するジムを見つける。



2. Analysis & Practice

- ・以下の6つの Key point を押さえること。
- ・Ear-training では馴染みのある単語を扱う・音にフォーカスする。
- ・リスニングの前に、who, where, why をシェアする。
- ・メモを取り、記憶の助けとする。
- ・フィードバックをしないと、ただのテストになってしまう。
- ・理解を深めるため、他者と共有する。
- ・便利なフレーズを取り出して提示することで、記憶に定着しやすくなる。

3. Workshop

- ・場面設定：動物園のツアーガイドとツアー参加者による会話
- ・チェックリストを用いて、リスニングのレッスンを計画する。
- ・ペアの人とレッスン計画を共有する。

◆研究協議◆

- 勤務校で使っている教科書はモノログでダイアログタイプの内容はない。どうすれば良いか？
ALT にレコーディングをしてもらったり、オンラインの素材を利用すると良い。
- 使用している教科書はダイアログが多く掲載されている。モノログとのバランスはどうしたら良いか？
ダイアログ 60%程度が良いのではないか。
- 授業ではリンキングをよく扱うが、何かコツはあるか？
まずは一語一語でいねいに、それを少しずつ早めていき、実際はどのように発音されるかを伝える。
- リスニングテストにはどのような素材を使うと良いか？
授業で扱った音声を扱うと記憶力のテストになってしまう。同じようなコンテキストのものを使う。
- ペアワークの目的や重要性を生徒に認識してもらうには？
生徒は教員ではなく学習者。教え合う必要はない。ペアワークが苦手な子などは、無理はしない。

○生徒の英語レベルは、多様な方が良いか、レベル別の方が良いか？

得意な子は自分たちで取り組ませ、苦手な子に寄り添う。

○アクセントの多様性にはどこまで対応すべきか？

アクセントだけにフォーカスする必要はないが、多様なアクセントがあることは伝え、紹介する。

◆閉会式◆

○総括（中川千穂 英語5技能教育特別委員）

今回の研修で学んだことを、勤務校に戻ってから少しずつでも実践してほしい。自分で少しずつ始めて、そのフィードバックを他の先生方に広げて改革が進めば良いと思う。初めは新たなことに拒否反応を示す先生もいるだろうが、時代は変わっている。まずは皆さんが実践して、上手くいったことを周りに示してもらいたい。



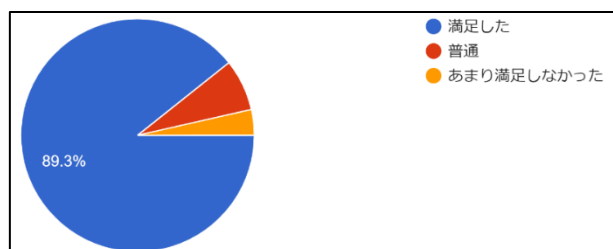
○挨拶（平方邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長／英語5技能特別委員長）

2022年度から高校学習指導要領が改訂され、今まで学習指導要領ではなかった「創造性」がすべての教科に取り入れられた。今回の研修会では、新たなことに触れる場面が数多くあったと思う。学校に持ち帰り、是非それを生かしながら、私立学校全体のレベルアップになるような英語教育を行って頂きたい。英語科の問題だけではなく、グローバルな社会の中で生きていくために外国語は絶対に必要だということを伝えてほしい。



◆参加者アンケートより◆

○当研修会にはどのくらい満足されましたか。



○学校紹介

- ・初めて来たが、学校について良く分かった。
- ・先生が輝かないと生徒が輝かないという言葉が印象に残った。

○視察校実践発表①（友田先生）

- ・授業の目標が明確で、そこに行き着くまでの試行錯誤の過程も非常に共感が持てる内容だった。
- ・自分にはないアイデアが沢山あり、持ち帰って取り入れたい。

○視察校実践発表②（菊地先生）

- ・1学期を踏まえた授業改善の視点や方法が勉強になった。
- ・英語だけでなく学級運営や学年目標にも配慮された授業デザインがとても参考になった。

○授業視察

- ・実際の授業を見せていただく機会は限られているのでとても有意義な時間だった。
- ・様々なクラスを満遍なく見ることができて良かった。

○施設見学

- ・生徒がどのように過ごしているか、具体的に分かって大変参考になった。
- ・掲示物など細かい点にも気を配っておられると感じた。校内美化など学べる点がたくさんあった。

○Workshop

- ・ぼんやりと実践していたリスニング指導法を論理的、体系的に整理することができた。
- ・指導方法のポイントが明確で授業に還元しやすい内容だった。

○研究協議（視察校/Workshop）

- ・他校の先生方と意見交換や悩み共有ができる貴重な機会だった。
- ・今後もこういう場で意見交換し、自校で改善できることを見つけたい。